



情シス1,000人はここを見ていた！

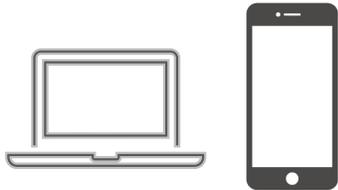
情シスの課題から紐解く
IT資産管理ツールの
選定ポイントとは？

情報漏洩対策やセキュリティ対策のために多くの企業・組織が導入している IT 資産管理ツールですが、テレワークやハイブリッドワークの定着などを背景に、従来オンプレミス型で利用することが一般的であった IT 資産管理ツールのクラウド化を検討している企業・組織も多いのではないのでしょうか。統合エンドポイント管理『LANSCOPE エンドポイントマネージャー』を提供しているエムオーテックス（MOTEX）では昨今、コスト・機能・セキュリティ面などから、オンプレミス型とクラウド型、どちらを選択すべきか？というご相談をお客様からいただくことが増えています。

そこで今回、MOTEXで実施したIT 資産管理ツールのクラウド化に関する実態調査から実際の情シス担当の声を基に、IT資産管理ツールを検討するときに抑えておきたい選定ポイントをご紹介します。

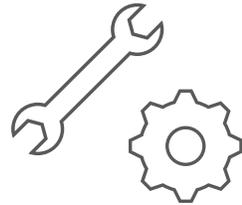
これらの課題解決ができるかどうかを選定のポイントになってきます

PC・スマホの資産管理



管理台数の増加などにより、
エクセルなどによる手動での
デバイス管理が限界

ツール管理工数の削減



オンプレミス型の管理ツールの
メンテナンスやサーバーの管理に
負荷がかかっている

テレワーク時のデバイス管理



テレワークなどで社内ネットワー
クに繋がらないデバイス情報の
管理ができていない

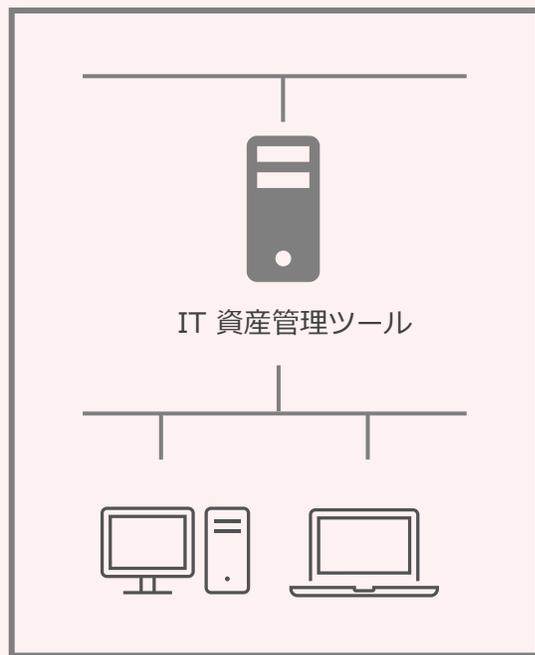
情報漏洩対策



万が一の情報漏洩事故の原因
追跡や、情報漏洩の事前対策が
できていない

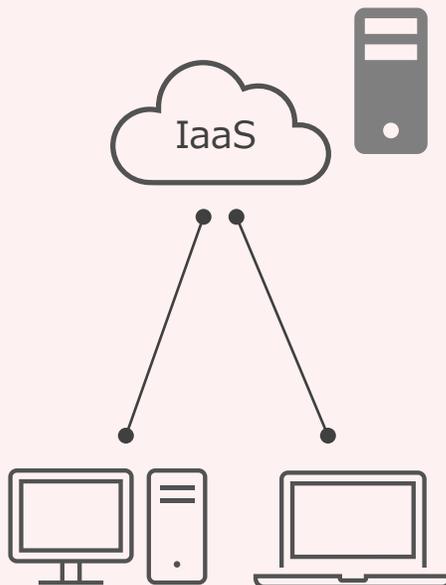
はじめに IT 資産管理ツールの種類について

IT 資産管理ツールを
物理サーバーに構築・利用

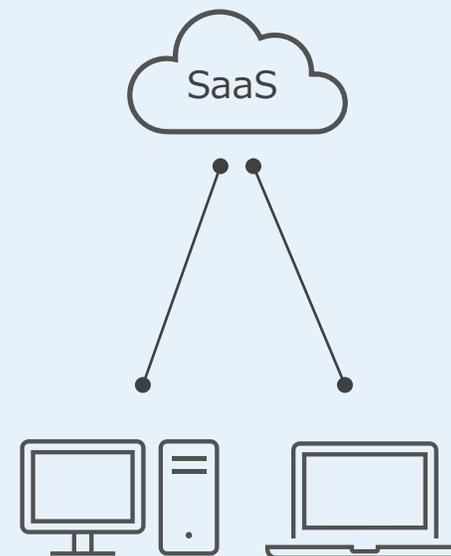


社内ネットワーク

IT 資産管理ツールを
IaaS 環境に構築・利用



IT 資産管理ツール ベンダーが
提供する SaaS を利用



オンプレミス型の IT 資産管理ツール

クラウド型の IT 資産管理ツール



環境
保守・運用面

サーバーの用意・管理は自社
保有しているIaaS環境等の既存リソースを利用することも可能



バージョンアップ
追加機能

サーバー、クライアント共に自社で作業
自社のタイミングでバージョンアップできる



ネットワーク
構成

社内ネットワークなどを利用



コスト

サーバー費用（調達費・保守費・構築費等）+
初期費用+ライセンス費用



環境
保守・運用面

サーバーの調達や環境構築は不要
保守管理、サーバーのメンテナンスは不要



バージョンアップ
追加機能

自社での作業は不要
ライセンス費用のみで常に最新バージョンを利用可能



ネットワーク
構成

インターネットを使用
社内ネットワークへの接続不要



コスト

初期費用+ライセンス費用

コスト・利用環境・社内リソース・機能要件等を鑑みて自社にあったツールを選択

		オンプレミス型	クラウド型
コスト	サーバー費用	必要 ※1	不要
	サーバー関連費 (構築、メンテナンス等)	必要	不要
	ライセンス費用	必要	必要
環境	インターネット経由 の利用	△ ※2	○
	社内ネットワーク経由 の利用	○	×
製品 バージョンアップ	サーバーの バージョンアップ	必要	不要
機能の豊富さ		○ ※3	△

※1 既に保有している AWSやAzure 等のリソースを活用することも可能

※2 製品によっては、クラウド基盤に構築することでインターネット経由での利用も可能

※3 オンプレミス型からスタートしていることもあり、オンプレミス型の方がクラウド型より充実している場合が多い

IT 資産管理ツール選定ポイント

情報システム担当者が IT 資産管理ツール検討時に見ている選定ポイントとは？

01 | クラウド型の IT 資産管理ツールかどうか

テレワークなどで社内ネットワークに繋がらないデバイスの管理を行うために、クラウド型を検討する組織が増えている

02 | コスト

「初期費用」、「ライセンス費用」だけでなく、「サーバー管理工数削減」「サーバー管理コストの削減」なども考慮して検討が必要

03 | 機能の豊富さ

IT 資産管理ツールは、オンプレミス型の方が機能が豊富な場合が多い。クラウド型を検討する際には必要としている機能が網羅されているかがポイントとなる。

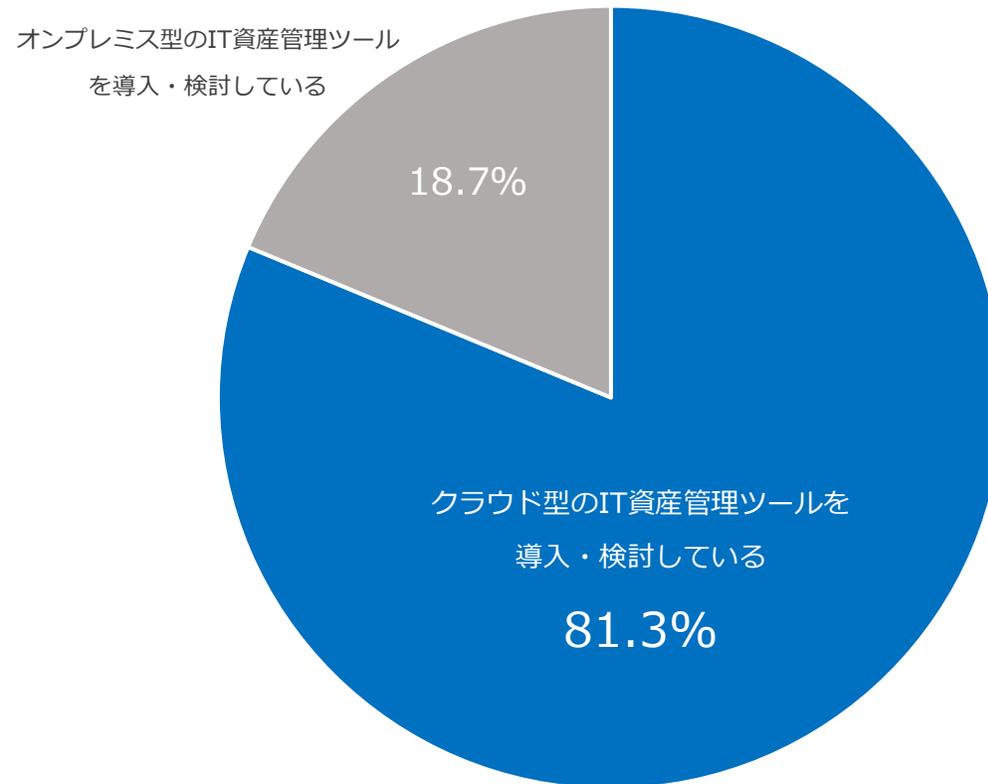
04 | PC・スマホを一元管理できるか

情報システム担当者がPCとスマホ両方を管理している企業も多く、PC・スマホを一つのツールで管理したいというニーズが増えている

ポイント① クラウド型の IT 資産管理ツールかどうか

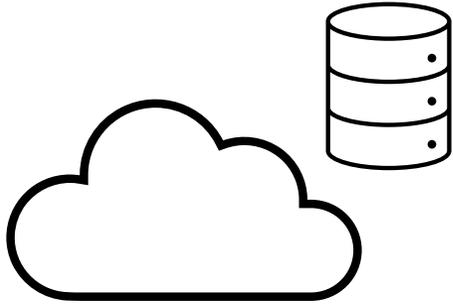
8割以上の情シスがクラウド型の IT 資産管理ツールの導入・検討している

導入（予定・検討も含む）しているのは、
どちらの IT 資産管理ツールですか（n=828）



サーバーの“クラウド化”

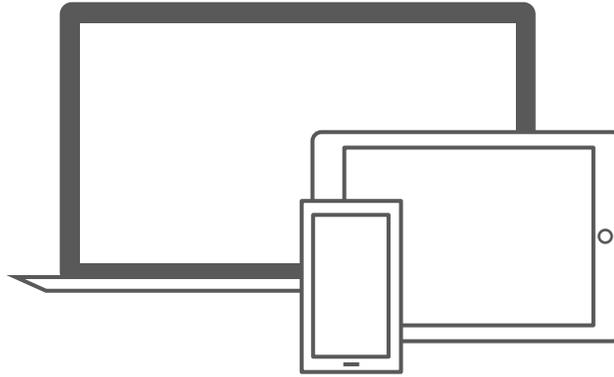
Amazon Web Service / Microsoft Azure … .etc



社内の物理的なサーバーを
IaaS 環境に移行

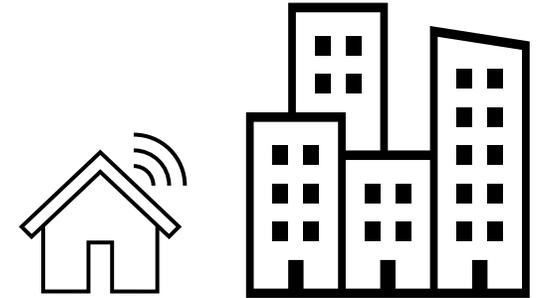
パッケージソフトの“SaaS”化

Officeソフト / ストレージ / チャット … .etc



PC だけでなく、スマホやタブレッ
トでの利用も“当たり前”に。

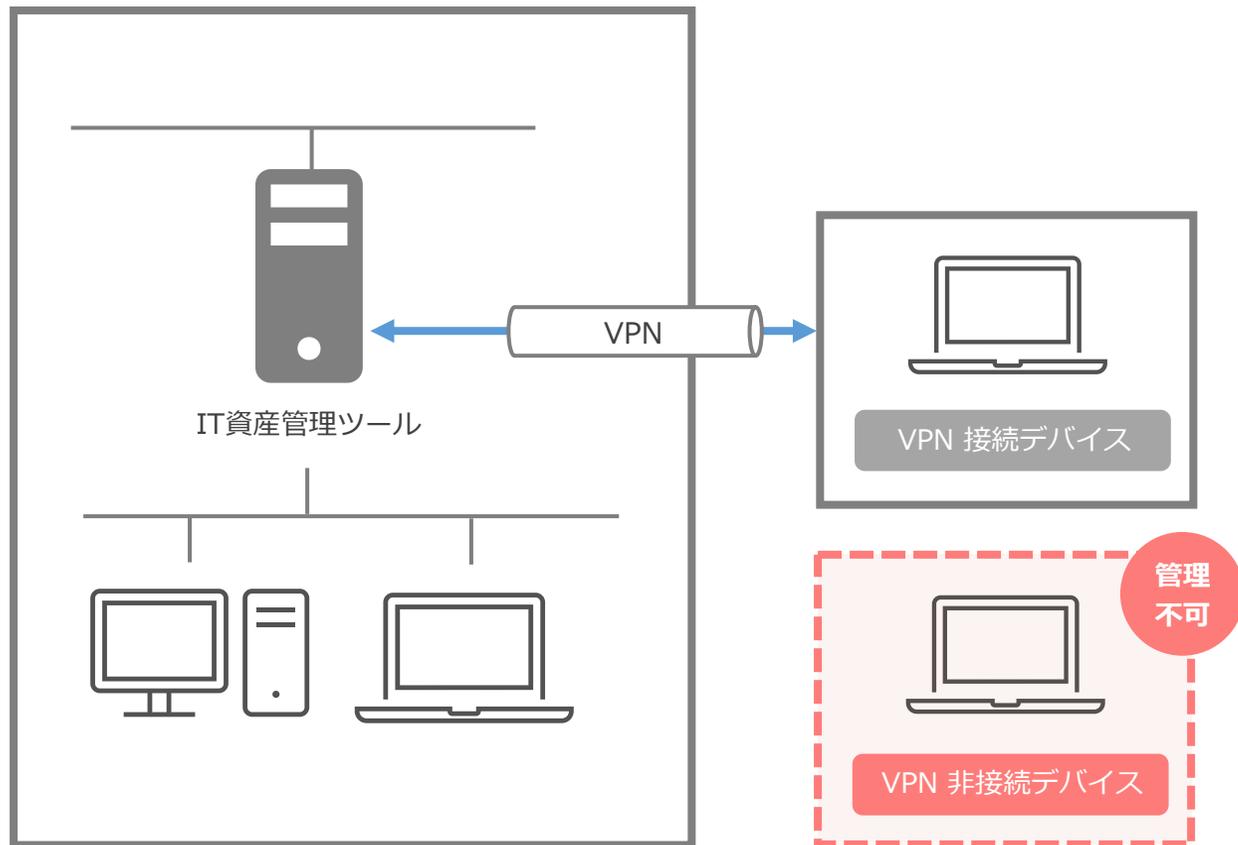
オンプレミス型の IT 資産管理ツールの“限界”



働き方の変化に伴い、これまでの
管理手法では限界を感じる側面も。

サーバー管理からの解放、パッケージソフトの SaaS 化と
働き方の変化に伴う管理手法の限界が相まってクラウドシフトの流れに。

リモートワークの定着に伴い、
働く所在（社内/社外）を問わずデバイスを管理したいというニーズが急増



従来の働き方

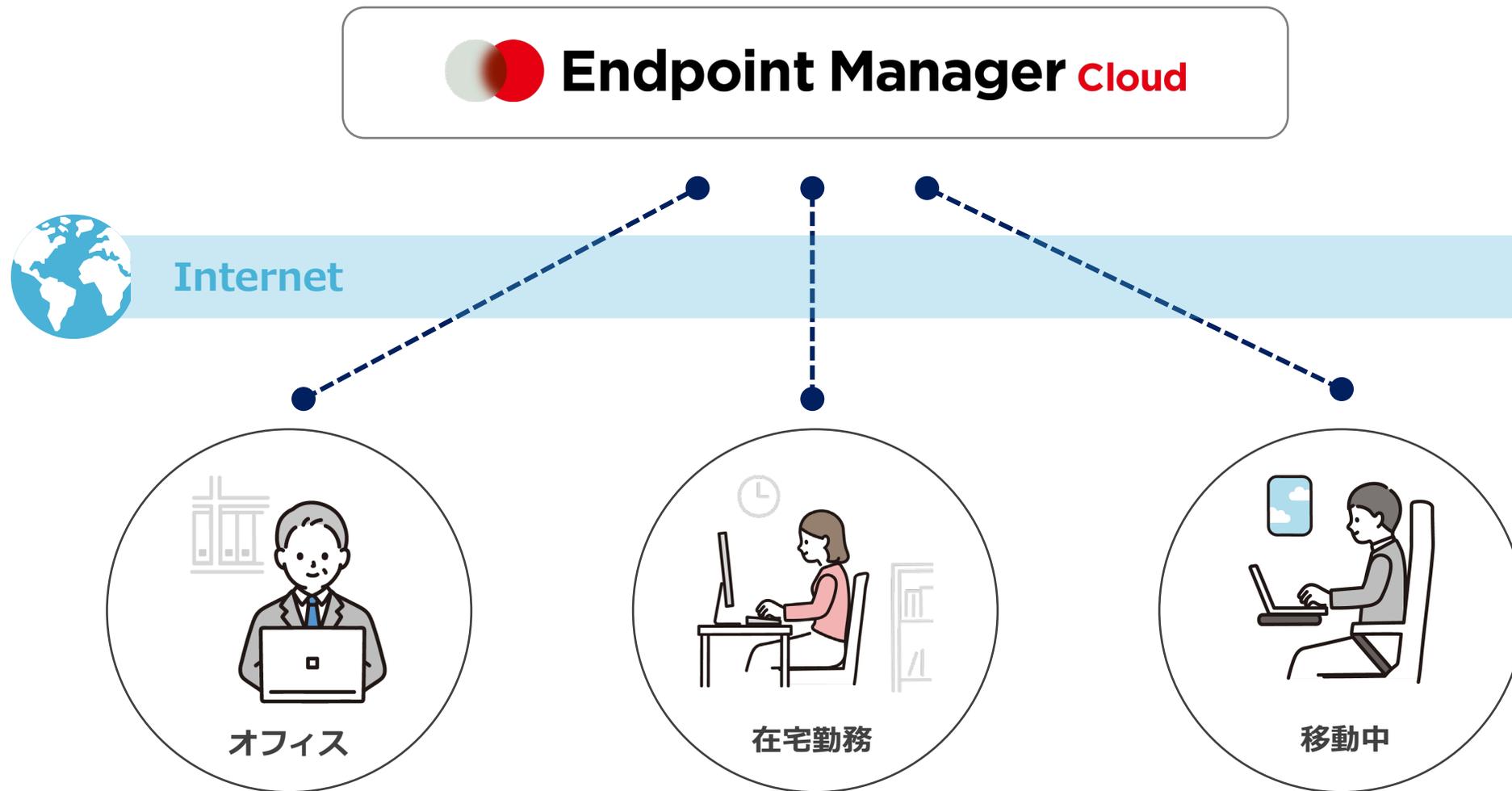
- ✓ 毎日出社。外出の際は時間によっては直行直帰も、オフィスに帰ることが基本。
- ✓ 社内ネットワークにアクセスするため、オンプレミス型の資産管理ツールでも管理可能

新しい働き方

- ✓ 完全リモート、または出社・リモートを使い分けるハイブリッドワークが加速。
- ✓ 業務用デバイスが必ずしも社内ネットワークにアクセスするとは限らない

➡ 必要な時にデバイスを管理できない課題に直面

デバイスの所在（社内 / 社外）を問わず、デバイスのインターネット接続があれば管理可能



テレワークなど多様化する働き方に合わせた デバイス管理とサーバーの運用負荷を削減



株式会社ユーグレナ 様

本社所在地	東京都	事業内容	微細藻類等の研究開発、生産
管理台数	690台	管理OS	Windows
主な導入目的	IT 資産管理として導入		
事例内で紹介している機能			
IT 資産管理	操作ログ管理	アップデート管理	
記録メディア制御	紛失対策	位置情報取得	
Apple Business Manager	Android Enterprise		

>> [事例詳細はこちら](#)

(担当者様の話)

エンドポイントマネージャーは PC 管理の機能が充実している点に加え、スマホも合わせて管理できる点が大きな魅力でした。また、サーバーメンテナンスを考えずに長期的・安定的にログが保存できることも、導入の決め手のひとつとなった。

課題

- 業務環境の変化により、オンプレミス型のIT資産管理ツールでは、PC 操作ログ等のリアルタイム取得が困難になったこと。
- 業務端末の増加に伴い、ログを保存するサーバーの容量がひっ迫し、メンテナンス・運用にかかる工数が増大。

採用理由

- PCだけでなくスマホも一元管理できること。
- 充実した機能や使いやすさとサーバーメンテナンスを考えずに長期的・安定的にログが保存できること。

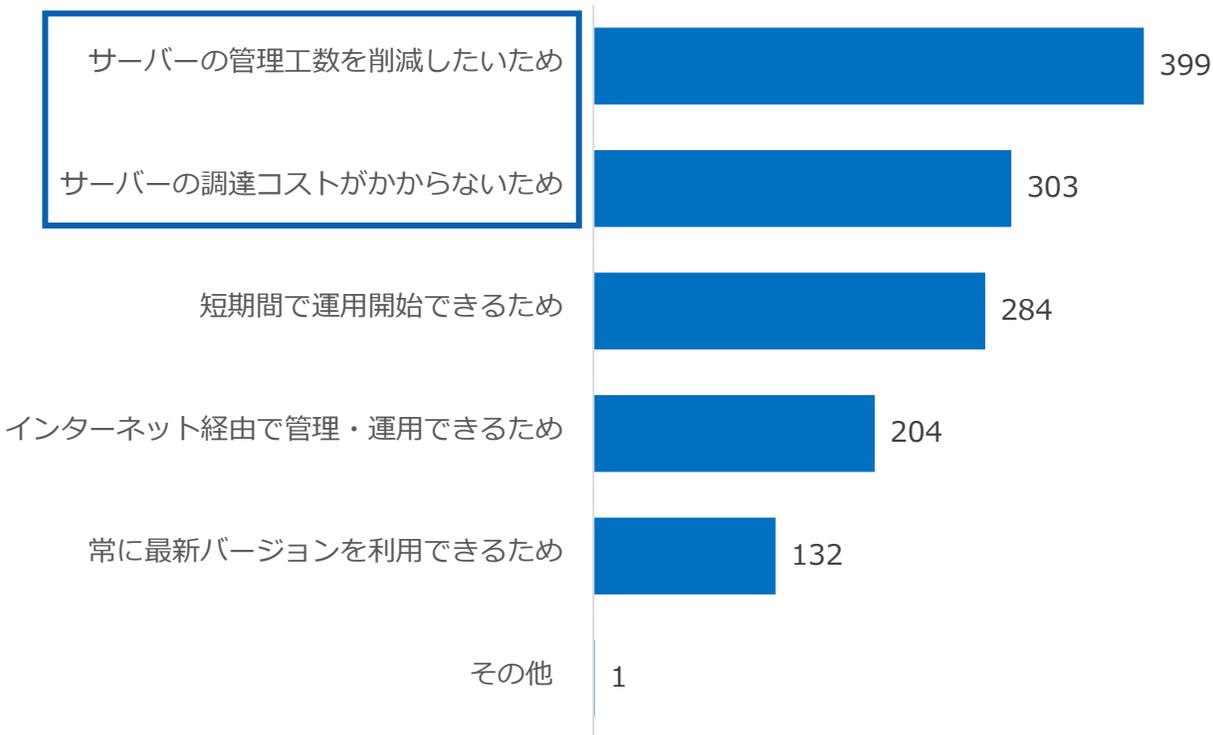
導入効果 今後の展望

- クラウド型に移行したことで、リアルタイムかつ正確に IT 資産の状況が把握できるようになったこと。
- Windows アップデートの適用状況の把握ができるため、対応期日を過ぎても Windows アップデートが適用されていないデバイスを利用している社員に対し、適切なフォローができるようになったこと。
- スマホ管理もエンドポイントマネージャーに統合を検討。クラウドの強みを活かし、セキュリティ体制の再構築を予定。

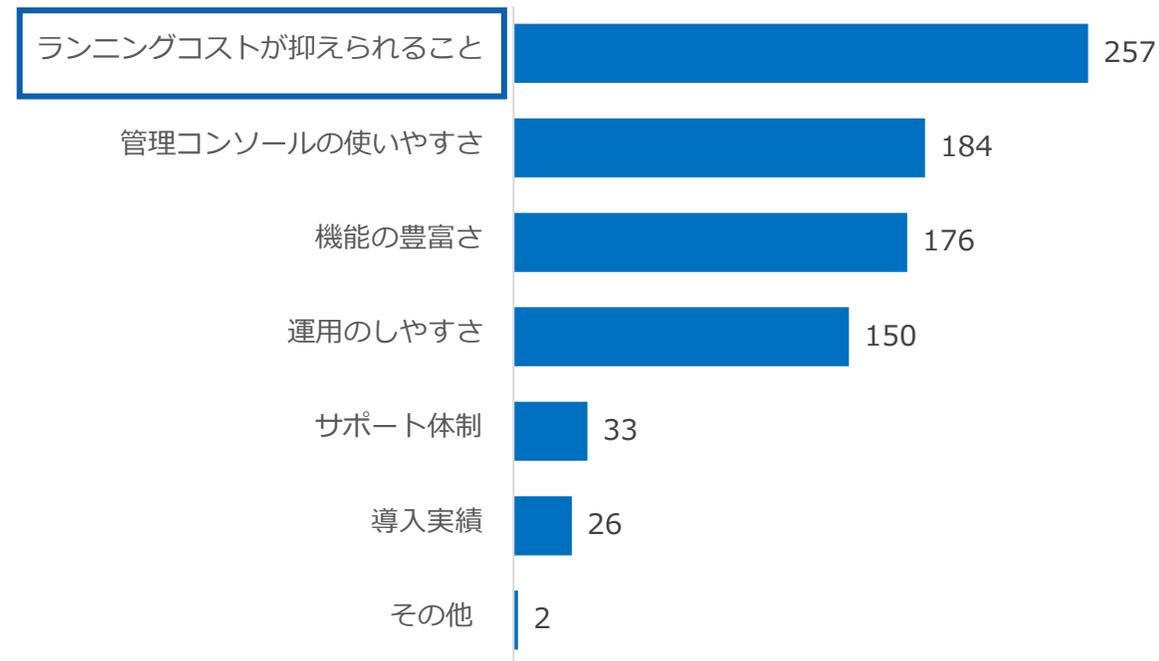
ポイント② コスト

導入・検討した理由、選定時に重視した点ともに「コスト」に関する内容が上位に
導入コスト、ランニングコストは選定時のポイントとなっている

クラウド型の IT 資産管理ツールを導入（予定・検討）
している理由として、当てはまるものを教えてください（n=828）※複数回答可

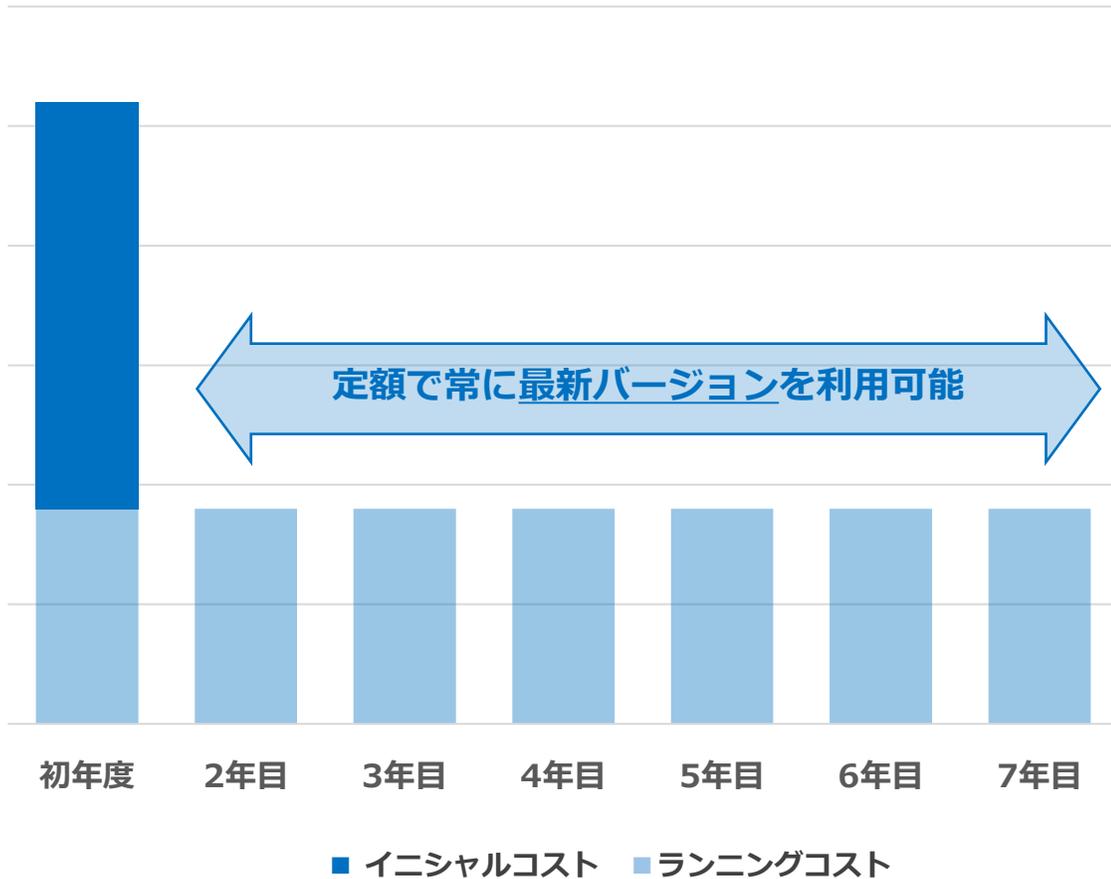


IT 資産管理ツールの選定時に
最も必要だと思う要件について教えてください（n=828）

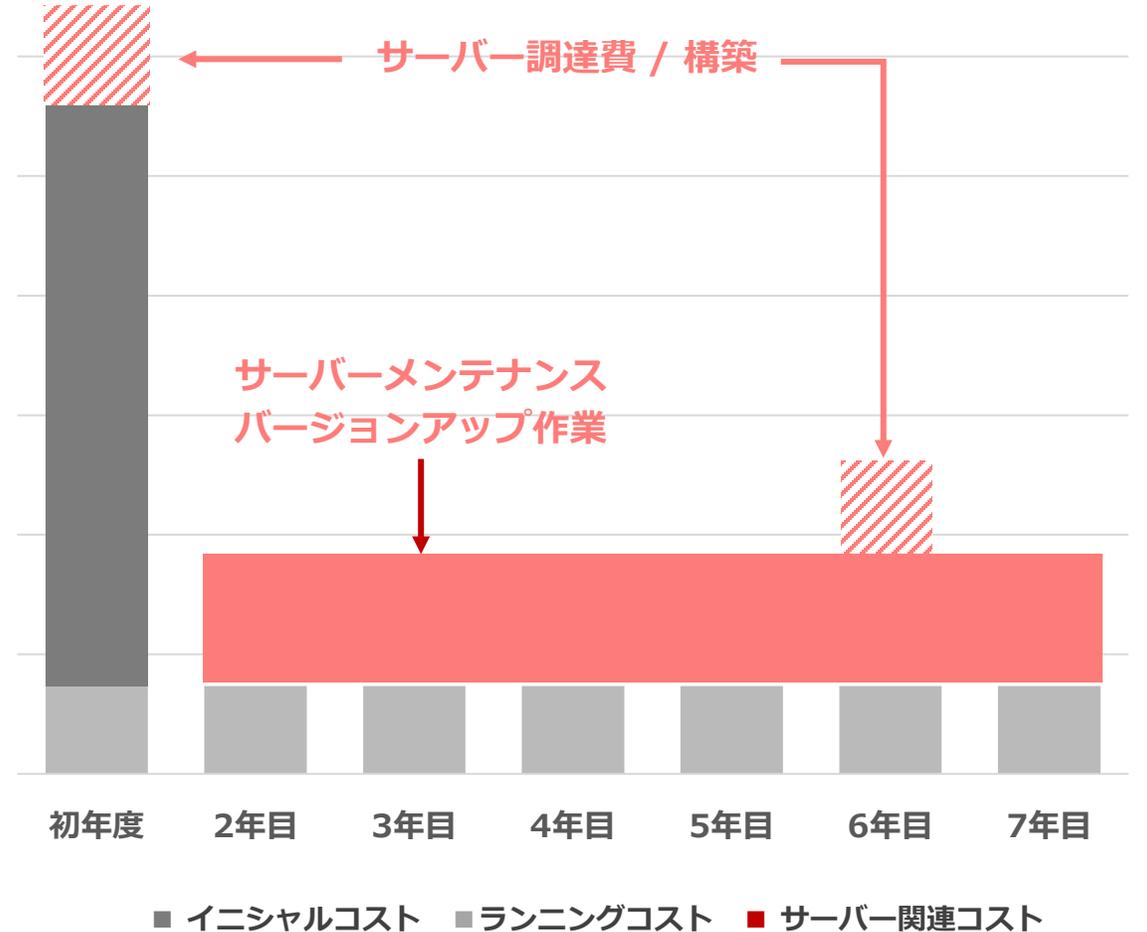


初期コストやランニング費用だけでなく、
サーバー費用やバージョンアップ等の関連コスト等を鑑みて検討が必要

<クラウド製品>



<オンプレミス製品>



PC 管理なら 1台あたり月額300円～500円で利用できる導入しやすい価格体系です

いずれかを
選択

- ランニングコストを抑えるプラン
- イニシャルコストを抑えるプラン

- 24時間365日紛失サポートサービス
- VPPアプリの配信/管理機能
- 外部脅威調査（アプリ稼働・通信ログ）
- ログ運用（ログ5年保存・Splunk 連携）
- Web フィルタリング

	PC 管理（年間）	スマホ管理（年間）
1年目	登録料 6,800円/台 利用料 3,600円/台	登録料 6,800円/台 利用料 1,200円/台
2年目以降	利用料 3,600円/台	利用料 1,200円/台
年間利用料	利用料 6,000円/台	利用料 3,600円/台
	+	
	利用料 1,800円/台	
	—	利用料 1,200円/台
オプション 年間利用料	利用料 1,200円/台	—
	利用料 1,200円/台	—
	利用料 1,200円/台	

オンプレミス型のIT資産管理ツールから移行し サーバーの管理コストや運用負荷を軽減



株式会社インブルーミー 様

本社所在地	北海道	事業内容	化粧品及び原材料の輸出入業務及び仕入・製造・販売
管理台数	40台	管理OS	Windows
主な導入目的	IT 資産管理として導入		

事例内で紹介している機能

IT 資産管理	操作ログ管理	アップデート管理
記録メディア制御	紛失対策	位置情報取得
Apple Business Manager	Android Enterprise	

>> [事例詳細はこちら](#)

(担当者様の話)

機能面が優れていると感じた。従来利用していたオンプレミス型のIT資産管理ツールと同等の機能が網羅できること、そして、クラウド型製品のためサーバー管理が不要で、そのコストの課題も解決できることから選定した。

課題

- サーバーの管理やツールのアップデート作業など、IT資産管理ツールを運用するためのメンテナンスが管理者の負担となっていたこと。PC端末の操作ログデータを保存するため将来的にサーバー管理コストが増加してしまうこと。

採用理由

- 取得できる操作ログの種類が豊富であったこと。
- 従来利用していたオンプレミス型のIT資産管理ツールと同等の機能が網羅できること

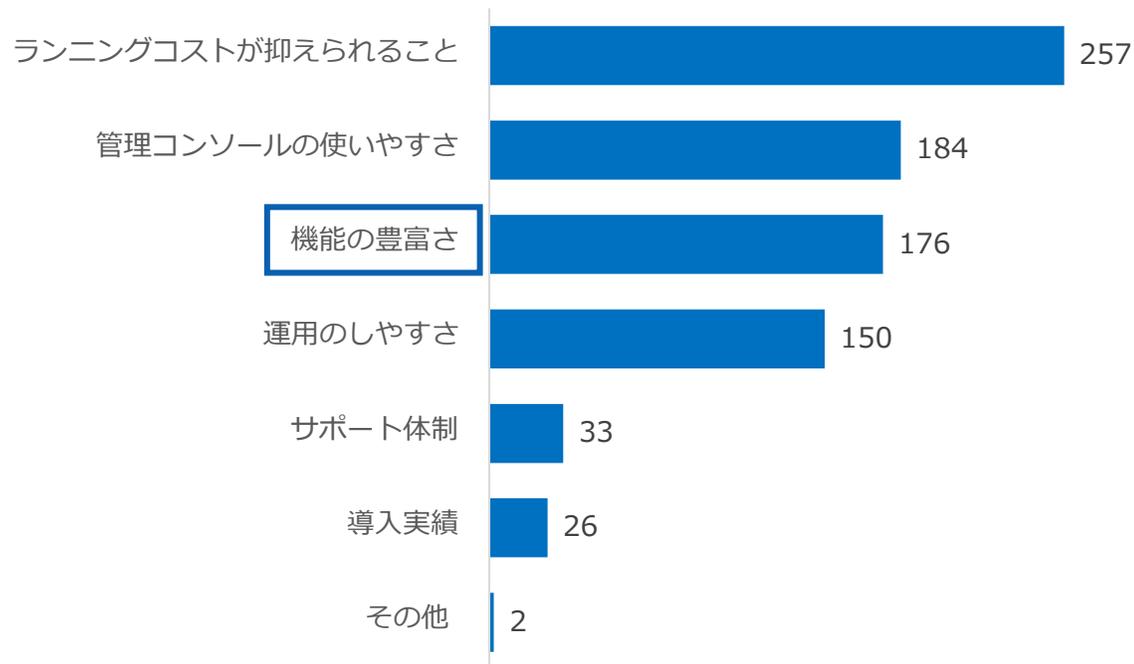
導入効果 今後の展望

- サーバー管理費用が不要となったため、大幅にコストを削減できた
- セキュリティパッチの適用も、エンドポイントマネージャー導入前は動作確認から適用までを管理者である自分が行っていたが、今はエンドポイントマネージャーで配信・適用ができるようになり、作業の効率化につながった
- 位置情報の取得機能の利用など、エンドポイントマネージャーをPC端末紛失時の対応フロー確立に役立てたい

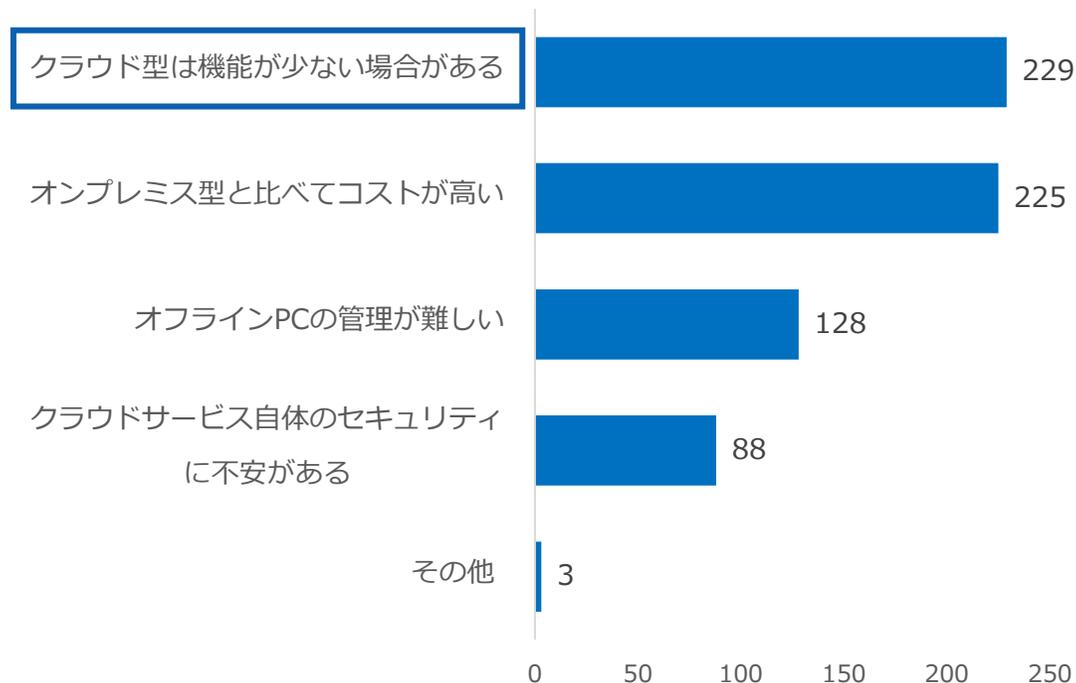
ポイント③ 機能の豊富さ

選定時の要件として「機能の豊富さ」を挙げている人が多い中、クラウド型は機能が少ないことを課題に挙げる人が上位に

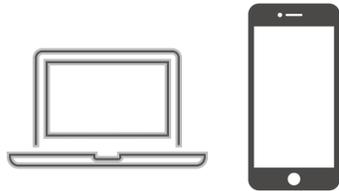
IT 資産管理ツールの選定時に
最も必要だと思う要件について教えてください (n=828)



IT 資産管理 (PC 管理) ツールのクラウド化
においてどのような点が課題ですか? (n=673)



資産管理



PC・スマホの資産情報を自動取得して誰がどのデバイスを利用しているのかを把握できること

操作ログ取得



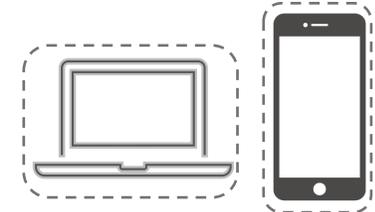
機密情報の持ち出しなど、万一のセキュリティ事故発生時に備えてログの取得・保存ができること

セキュリティ対策



デバイスのセキュリティを最新にするための Windows アップデート管理や情報漏洩対策として記録メディア制御ができること

紛失対策



パスワードポリシー強化などの事前対策から、紛失時のデバイス調査やリモートロックなどの事後対策までツールで管理できること

Windows・macOS 管理に必要な機能を網羅。

IT 資産管理ツールとしては欠かせない操作ログは標準で2年・最大5年分保存可能

01 | 資産管理

Windows

macOS

デバイスのハードウェア情報/設定情報を自動取得。自動取得できない項目は任意項目として管理。資産台帳を効率的に作成します。

02 | セキュリティ

Windows

macOS

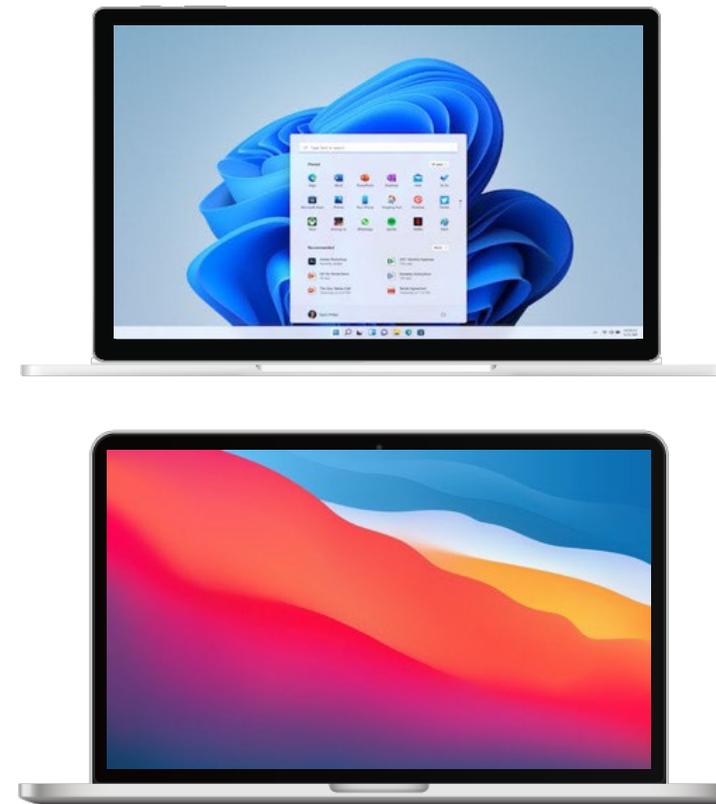
OS によって必要なセキュリティ対策は異なります。Windows のアップデート管理や記録メディア制御、macOS のシステム利用制御やドライブ・ディスク暗号化の運用に必要な機能をエンドポイントマネージャーで提供します。

03 | 操作ログ

Windows

macOS

内部情報漏洩対策として欠かせない PC の操作ログを自動取得します。取得したログは標準で2年、オプションの導入で最大5年分の保存が可能です。また、働き方の見える化を実現するレポートを自動作成し、従業員のマネジメントにも活用できます。



管理下のデバイスの最新情報を自動取得し、一覧で表示
社内ネットワークに繋がらないデバイス情報の取得も可能

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	OSバージョン	電話番号	デバイス
10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	13.2	080xxxxxxx	iPhone
11	営業1課	Surface Pro 5_000000044	吉田 勝平	Windows	Windows 10 Pro 10.0.17134	090xxxxxxx	Surface
12	営業1課	Surface Pro 5_000000045	加藤 信也	Windows	Windows 10 Pro 10.0.17134	090xxxxxxx	Surface
13	営業1課	404KC_000000023	石井 健二	Android	9	080xxxxxxx	404KC
14	営業2課	404KC_000000018	平尾 晋作	Android	9	080xxxxxxx	404KC
15	営業2課						
16	営業部	iPhone_000000030	佐藤 新	iOS	14.2	080xxxxxxx	iPhone
17	営業部	iPhone_000000031	鈴木 一	iOS	14.1	080xxxxxxx	iPhone
18	営業2課	iPhone_000000032	佐竹 信弘	iOS	13.5.1	080xxxxxxx	iPhone
19	営業2課	iPhone_000000033	石川 忍	iOS	14.4	080xxxxxxx	iPhone
20	営業2課	Surface 3_000000054	石川 忍	Windows	Windows 10 Home 10.0.10240		Surface
21	営業1課	iPad_000000034	小林 哲司	iOS	14.2	080xxxxxxx	iPad
22	営業2課	Surface 3_000000051	荒城 太郎	Windows	Windows 10 Home 10.0.10240		Surface
23		Surface 3_000000047	MO三郎	Windows	Windows 10 Pro 10.0.19041		Surface
24		Surface 3_000000048	MO花子	Windows	Windows 10 Pro 10.0.19041		Surface
25		Surface 3_000000049	MO二郎	Windows	Windows 10 Pro 10.0.19041		Surface
		Surface 3_000000050	MO一郎	Windows	Windows 10 Pro 10.0.19041	090xxxxxxx	Surface
		Surface 3_000000052					Surface
		Surface 3_000000053					Surface
		Surface 3_000000054					Surface
		Surface 3_000000055					Surface
		Surface 3_000000056					Surface
		Surface 3_000000057					Surface
		Surface 3_000000058					Surface
		Surface 3_000000059					Surface
		Surface 3_000000060					Surface
		Surface 3_000000061					Surface
		Surface 3_000000062					Surface
		Surface 3_000000063					Surface
		Surface 3_000000064					Surface
		Surface 3_000000065					Surface
		Surface 3_000000066					Surface
		Surface 3_000000067					Surface
		Surface 3_000000068					Surface
		Surface 3_000000069					Surface
		Surface 3_000000070					Surface
		Surface 3_000000071					Surface
		Surface 3_000000072					Surface
		Surface 3_000000073					Surface
		Surface 3_000000074					Surface
		Surface 3_000000075					Surface
		Surface 3_000000076					Surface
		Surface 3_000000077					Surface
		Surface 3_000000078					Surface
		Surface 3_000000079					Surface
		Surface 3_000000080					Surface
		Surface 3_000000081					Surface
		Surface 3_000000082					Surface
		Surface 3_000000083					Surface
		Surface 3_000000084					Surface
		Surface 3_000000085					Surface
		Surface 3_000000086					Surface
		Surface 3_000000087					Surface
		Surface 3_000000088					Surface
		Surface 3_000000089					Surface
		Surface 3_000000090					Surface
		Surface 3_000000091					Surface
		Surface 3_000000092					Surface
		Surface 3_000000093					Surface
		Surface 3_000000094					Surface
		Surface 3_000000095					Surface
		Surface 3_000000096					Surface
		Surface 3_000000097					Surface
		Surface 3_000000098					Surface
		Surface 3_000000099					Surface
		Surface 3_000000100					Surface

Windows Surface Pro 5_0000000044 - デバイス詳細

取得日時: -

OSバージョン: Windows 10 Pro 10.0.17134 OSアーキテクチャ: 64ビット

Windows バージョン: 1803

CPU名: Intel(R) Core(TM) i7-3770 CPU @ 3.42GHz CPU周波数: 3.40 GHz

メモリ: 15.89 GB

ドメイン・ワークグループ名: WORKGROUP ログオンユーザー名: -

ログオンユーザーSID: S-1-5-21-9848667327-8815634417-5210944867-5132

ハードウェア

1Clickでデバイスの詳細情報を確認

エンドポイントマネージャー クラウド版のメリット

- ▶ 操作ログ取得の保存期間は標準で2年
オプション導入で最大5年保存も可能
- ▶ インターネット接続があればログ収集が可能
- ▶ オンプレミス版（※）と比較しても同等のログ取得種類

取得できるログの比較	オンプレミス版	クラウド版
ログオン・ログオフ	●	●
ウィンドウタイトル（アプリ利用）	●	●
ファイル操作	●	●
外部記憶媒体への書き込み	●	●
プリントログ	●	●
Wi-Fi, Bluetoothなどの接続	●	●
Web アクセスログ	●	●
アプリ稼働・アプリ通信	●	オプション

※ LANSCOPE エンドポイントマネージャー オンプレミス版と比較

The screenshot displays the LANSCOPE log management interface. The top navigation bar includes 'リスト', 'レシビ', 'モニター', 'レポート', 'ログ', and 'ルール'. The main content area shows a search filter for '操作ログ (Windows / macOS)' and a list of log entries. The log entries table has columns for '日時', 'ユーザー名', 'ログの種類', 'イベント', 'タイトル', and 'ファイルパス'. The log entries include file operations like 'ファイル削除', 'ファイル移動先', and 'ファイル作成', as well as security alerts like '脅威検知' and web access events like 'Webアクセス'.

「どの部署の」「誰が」「いつ」「何をしたのか」をリアルタイムに取得

取得した操作ログは2年間保存され、検索によるログの抽出と CSV ファイルによる出力が可能。ログ運用オプションの導入で最大5年保存されます。

↑ 日時	使用者名	ログの種類	イベント	タイトル	ファイルパス
2022/08/24 17:36:00	MO一部	ファイル操作	ファイル削除	C:\Documents and Settings\Ysudou\デスクトップ...	
2022/08/24 18:15:00	MO一部	ファイル操作	ファイル移動元	C:\Documents and Settings\Ysudou\Local Setting...	
2022/08/24 18:16:00	MO一部	ファイル操作	ファイル移動先	C:\Documents and Settings\Ysudou\Local Setting...	
2022/08/24 18:17:00	MO一部	ファイル操作	ファイル移動元	C:\Documents and Settings\Ysudou\Local Setting...	
2022/08/24 18:18:00	MO一部	ファイル操作	ファイル移動先	C:\Documents and Settings\Ysudou\Local Setting...	
2022/08/24 19:44:00	MO一部	ファイル操作	ファイル作成	C:\Documents and Settings\Ysudou\Local Setting...	
2022/08/24 19:54:00	MO一部	脅威検知			C:\Users\Uchiro.mo\AppData\Local\Microsoft\Window...
2022/08/24 19:59:00	MO一部	脅威検知			
2022/08/24 20:00:00	MO一部	Webアクセス	閲覧	CD Writing Soft WebSite - Google Chrome	
2022/08/24 20:01:00	MO一部	Webアクセス	ダウンロード	Downloading... - CD Writing Soft WebSite	
2022/08/24 20:02:00	MO一部	脅威検知			C:\Program Files\CD Writing Soft\CD Writing Sof... C:\Users\motex\Downloads\CD Writing Soft.exe
2022/08/24 23:32:00	MO一部	ファイル操作	ファイルコピー元		¥¥192.168.102.241¥ 【社外秘】 営業部¥営業1課用¥願...
2022/08/24 23:32:00	MO一部				
2022/08/24 23:36:00	MO一部				
2022/08/24 23:36:00	MO一部				
2022/08/24 23:37:00	MO一部				
2022/08/24 23:37:00	MO一部				
2022/08/24 23:37:00	MO一部				
2022/08/24 23:40:00	MO一部				

違反操作があった場合は、リアルタイムに警告通知が可能

取得できる操作ログ

ログオン・ログオフログ

電源ON・OFF・ログオン・ログオフのログを取得できます。

ウィンドウタイトルログ

デバイス上での閲覧画面（ウィンドウタイトル・アプリ名）のログを取得できます。

ファイル操作ログ

デバイス上でのファイル操作（ファイル・フォルダのコピー／移動／作成／上書き／削除／名前の変更）でのログを取得できます。

Web アクセスログ※1

Webサイトの閲覧、Webメールやクラウドストレージのアップロード／ダウンロードログを取得できます。

プリントログ

印刷状況を記録し、ドキュメントやプリンター、PCごとに印刷枚数を集計できます。

周辺機器・通信機器接続ログ※2

USB メモリなどの周辺機器、Wi-Fi・Bluetooth などへの接続／切断などのログを取得できます。

アプリ稼働・アプリ通信ログ※3

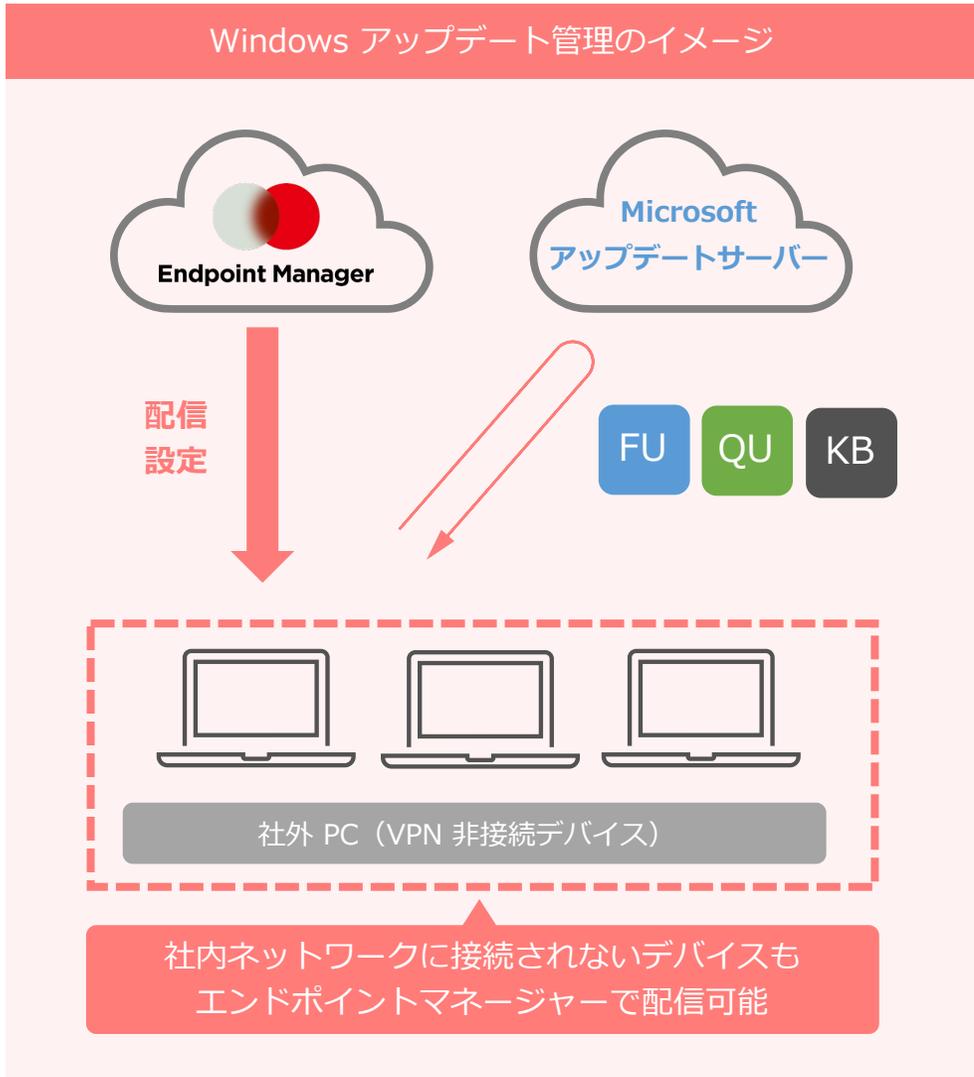
バックグラウンドで稼働しているアプリ情報、通信元／先のIPアドレスやポート番号、アプリのハッシュ値を取得できます。

※1 macOS は Web サイトの閲覧ログのみ対応しています。また対応ブラウザは Microsoft Edge・Google Chrome・FireFox・Safari です。

※2 macOS は周辺機器接続ログのみ対応しています。

※3 外部脅威調査オプションの導入が必要です。尚、macOS は非対応です。

Windows アップデートの適用状況を、“視認性の良い” レポート形式で把握



LANSCOPE リスト レシビ モニター レポート ログ ルール

ログアラート 利用状況 Windows アップデート

ネットワーク全体 集計日時: 2023/06/16 09:08:38 設定状況

OSのサポートが終了しているデバイス
Microsoft社の製品サポートが終了しているデバイスを確認して対策できます。

サポート終了 サポート終了間近

Windows 10	8台
Windows Server 2012...	1台
Windows Server 2016	2台
Windows Server 2019	すべてサポート中です

11台

月例パッチ (サーバー) が未適用のデバイス
サーバー用の月例パッチが未適用のデバイスを確認して対策できます。

最新 (2023/06/11)

パッチ未適用

Windows Server 2019	1台
Windows Server 2016	すべて適用済みです
Windows Server 2012...	すべて適用済みです

1台

月例パッチ (クライアント) が未適用のデバイス
クライアント用の月例パッチが未適用のデバイスを確認して対策できます。

最新 (2023/06/11)

パッチ未適用

Windows 10	6台
------------	----

6台

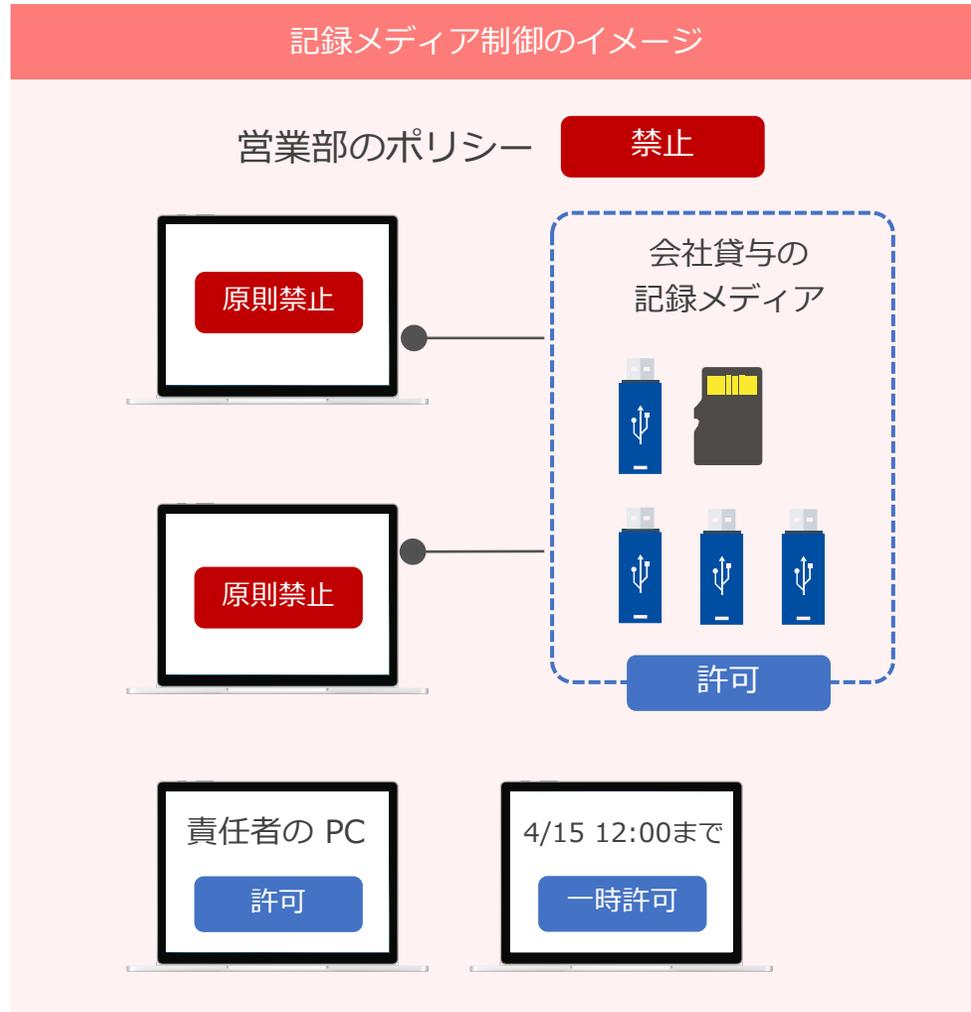
← 月例パッチの詳細

ネットワーク全体	最新 (2023/06/11)	サーバー	クライアント	適用済みのデバイスも表示する	検索	
X 4件も選択中						
インストール設定						
カテゴリ	適用された月例パッチ	管理No.	デバイスグループ	デバイス管理名	OSバージョン	取得日時
未適用	2023/06/13	20	営業2課	Surface_3,0000000054	Windows 10 Home 10.0.19240	2023/07/29 09:07:29
未適用	2023/06/13	22	営業3課	Surface_3,0000000051	Windows 10 Home 10.0.19240	2023/07/29 08:23:29
未適用	2023/06/13	15	営業1課	Surface Pro_5,0000000044	Windows 10 Pro 10.0.17134	2023/07/29 08:23:27
未適用	2023/06/13	12	営業1課	Surface Pro_5,0000000045	Windows 10 Pro 10.0.17134	2023/07/29 08:23:27
未適用	2023/06/13					

1Clickで未適用デバイスを把握し、アップデート配信が可能

USB メモリなどの記録メディアの利用を制御し、情報漏洩を防止

グループ単位で禁止・読取専用・許可のいずれかから基本ポリシーを設定。特定記録メディアのみ許可/特定 PC のみ許可/特定時間のみ許可など柔軟な設定が可能。



記録メディア制御の全体設定

デバイスグループ

- ネットワーク全体
- 総務課
- 人事課
- 営業部
- システム部
- サポートセンター
- 運輸部
- 検証用

ネットワーク全体の設定

全体設定

グループで管理しているデバイス全体に対して読み取り専用/禁止に関する設定をします。

許可する (書き込み/読み取り可)
 読み取り専用にする
 禁止する

除外設定

禁止または読み取り専用の設定をしている場合に、除外する記録メディアを設定する

設定する

指定した記録メディア毎に許可/読み取り専用にする

記録メディアの個別設定

その他の設定

共通設定

禁止時にポップアップで通知する

通知する

タイトル*

禁止通知 - 記録メディア使用禁止

メッセージ*

記録メディアの使用は、社内ポリシーによって禁止されています。
%MEDIA%

過去に入力された通知設定から引用

※ メッセージに以下のキーワードを入力すると、禁止時の各情報に変換されます。

%TIME% : 抵触時の日時
%MEDIA% : 記録メディアの情報

特定の記録メディアを許可

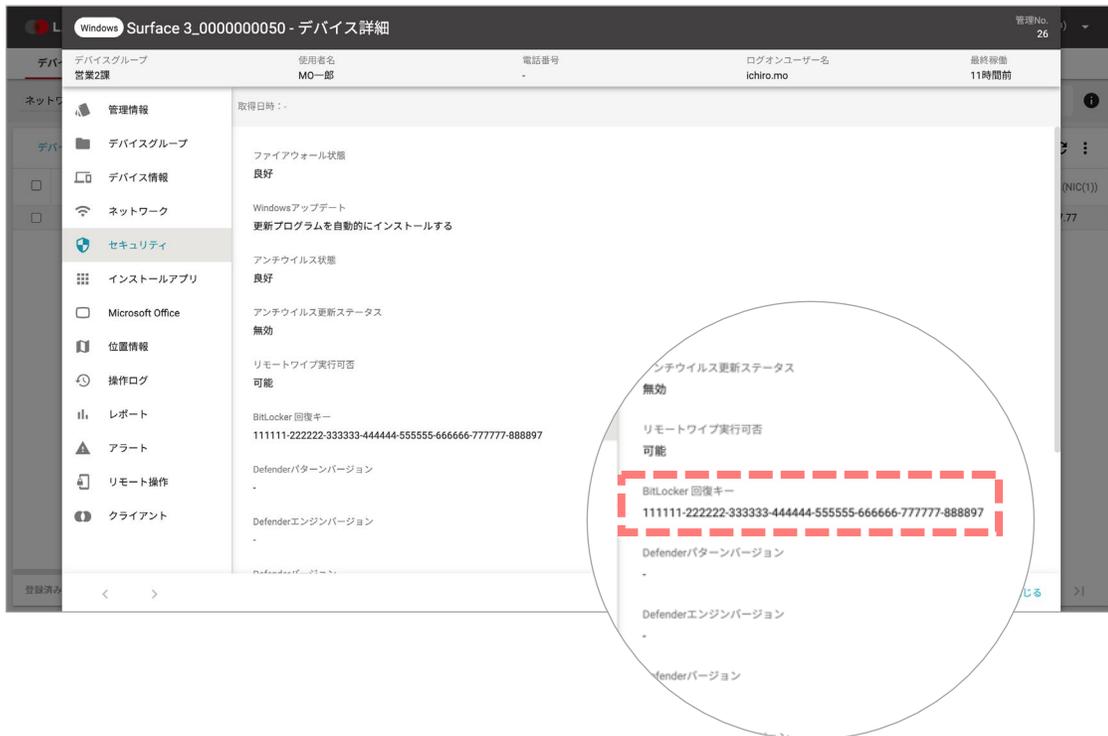
シリアル No	ベンダー ID	プロダクト ID	許可	読み取り
<input type="checkbox"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	35F37B7FB15A03FF91841A...		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	C2E830DCE0193A38B65964...		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	f84067126ca57b1	0x0457	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	f84067126ca57b2	0x0457	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	f84067126ca57b3	0x0457	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

禁止時には利用者に表示

Windows・Mac デバイス 標準搭載の ドライブ・ディスク暗号化機能の運用管理をエンドポイントマネージャーで！

Windows : BitLocker

BitLocker の回復キーを自動取得できるので、デバイス毎にファイルや印刷で保存する必要がなくなります。



macOS : FileVault

FileVault の設定を強制化したり、復旧キーを自動取得します。



位置情報から所在確認！遠隔でリモートロックやワイプを実行し情報漏洩を防止！



※ 位置情報の取得のためにはデバイス側で必要な設定があります。詳細はお問い合わせください。また位置情報の取得精度はデバイスに依存します。

※ OSによってリモートロック・ワイプの仕様は異なります。Windows Server OS はリモートロック・ワイプ機能に対応していません。

※ Windows Server OS・macOS は位置情報取得機能には対応していません。

※ Windows はスリープ状態の場合、位置情報が取得できません。

運用負荷の軽減やコンプライアンス強化に エンドポイントマネージャー クラウド版が貢献



株式会社東京カンテイ 様

本社所在地 東京都 事業内容 不動産情報サービス、不動産鑑定評価

管理台数 380台 管理OS Windows

主な導入目的 IT 資産管理ツールとして導入

事例内で紹介している機能

IT 資産管理	操作ログ管理	アップデート管理
記録メディア制御	紛失対策	位置情報取得
Apple Business Manager	Android Enterprise	

>> [事例詳細はこちら](#)

(担当者の話)

機能面では、PC の操作ログ取得機能は欠かすことができない要件だった。この点で SaaS 製品かつ操作ログまで取得できる製品は少なく、選定の早い段階からエンドポイントマネージャーに絞られていた。

課題

- これまで利用していた IT 資産管理ツールのサポートが終了することをきっかけに製品の入れ替えを検討。

採用理由

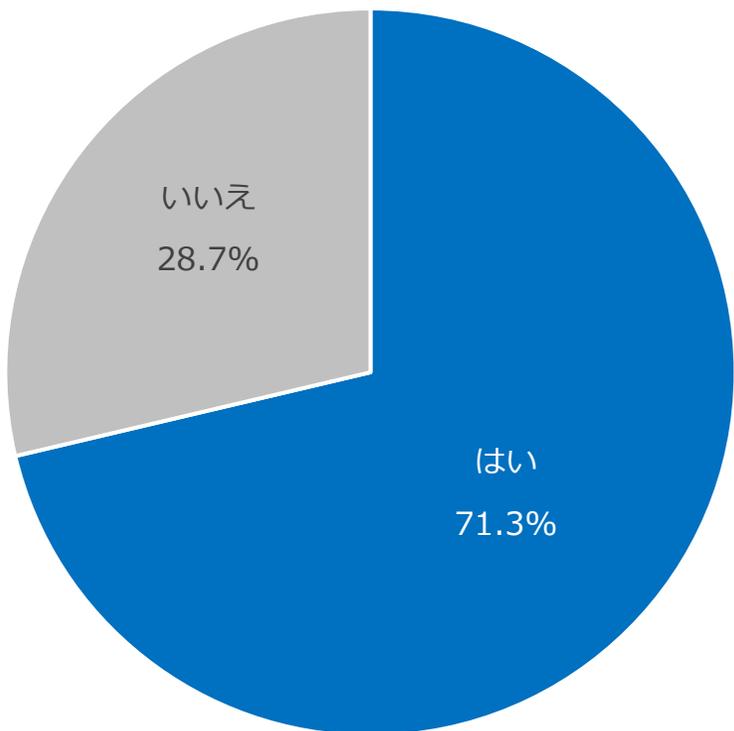
- 従来の IT 資産管理ツールで実現できていた機能が実装され、かつ簡単なインストール手順でリプレースできること。
- 管理コンソールの直感的な操作性。
- これまでできていなかった Windows のビルド番号の可視化やエージェントのアップデート自動化といった付加価値。

導入効果 今後の展望

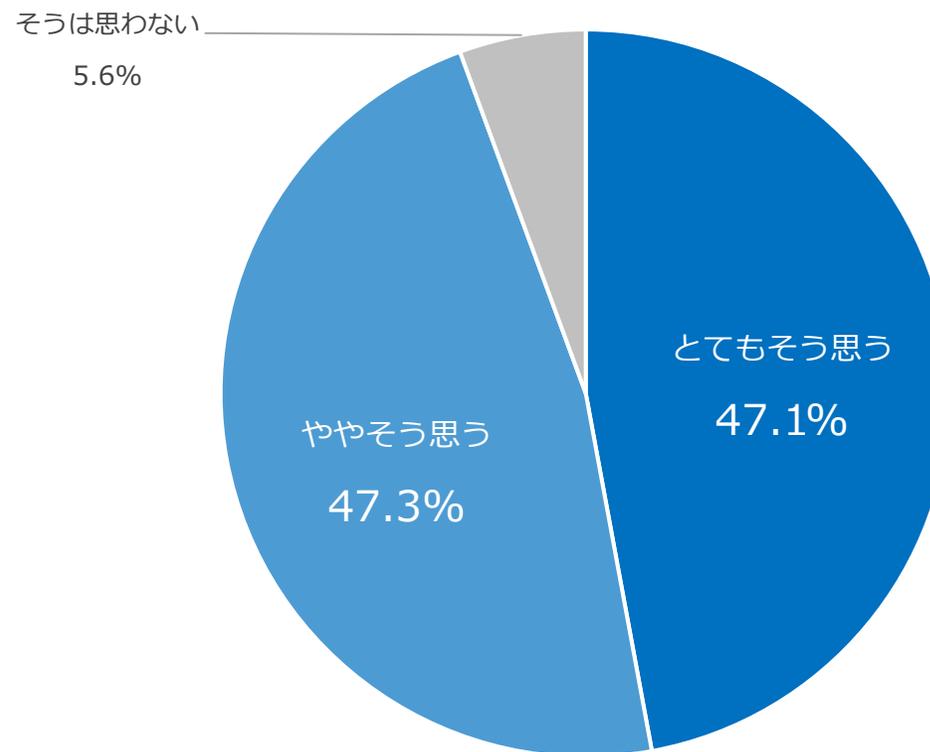
- BitLocker 回復キーの自動取得で、PC 復旧時の対応工数削減。
- 取得したログの保存期間は2年、定期的にログデータを出力、コンプライアンス上の対応がより確実になったこと。
- エージェントの自動アップデートで、管理ツールそのものの運用工数の削減。
- 今後は Active Directory で行っている USB などの記録メディアの制御もエンドポイントマネージャーで統合管理を予定。

PC 管理の担当者の約70%が、スマホも管理している
IT 資産管理ツールでスマホもまとめて管理できるかが選定のポイントになっている

社内で使用するスマートフォンも
あなたの管理対象になっていますか？ (n=1,014)



IT 資産管理ツールがスマホの管理にも対応している場合、PCに加えて
スマホもまとめて管理したいと思いますか？ (n=643)

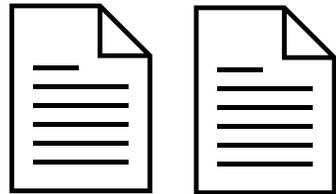


PC・スマホで管理ツールが別れているので、ツールを資産台帳としては利用していないケースも。
管理を統合後、Excel で運用していたことはエンドポイントマネージャーで管理を一本化

管理ツールが異なっていた時

管理を統合

IT 資産管理ツールと
MDM ツールそれぞれで管理



or

ツールではなくExcel で管理



LANSCOPE リスト レジビ モニター レポート ログ ルール

デバイス アプリ プロファイル アラート

ネットワーク全体 ▼ iOS Android Windows macOS 🔍 キーワード検索 (例: 営業 iPhone)

デバイスの追加 インストール待ちデバイス

<input type="checkbox"/>	↑ 管理...	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	電話番号	OSタイプ	OSバージョン	デバイス
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	090xxxxxxx	Android	9	SC-03D
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	090xxxxxxx	Android	10	hammerhead
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_0000000028	飯田 育三	080xxxxxxx	iOS	14.4	iPhone
<input type="checkbox"/>	4	人事部	N-04C_0000000020	江村 太郎	080xxxxxxx	Android	11	N-04C
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	080xxxxxxx	Android	11	EB-A71G
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	080xxxxxxx	Android	11	maguro
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	080xxxxxxx	Android	10	404KC
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_aapcus6jp_00000000...	橋 秀雄	090xxxxxxx	Android	11	picasso
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_0000000026	森 太郎	080xxxxxxx	iOS	14.4	iPhone
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_0000000029	別所 哲郎	080xxxxxxx	iOS	13.2	iPhone
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	090xxxxxxx	Windows	Windows 10 Pro 10.0.17134	Surface I
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	090xxxxxxx	Windows	Windows 10 Pro 10.0.17134	Surface I
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	080xxxxxxx	Android	9	404KC
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	080xxxxxxx	Android	9	404KC
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	080xxxxxxx	Android	10	404KC
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_0000000030	佐藤 新	080xxxxxxx	iOS	14.2	iPhone

管理コンソールが スマホ・PC の資産台帳に

登録済みライセンス: 83 / 100 1000 1-85件 / 全 85 件 < > 1 >

充実の PC 管理に加えて、スマホ管理に欠かせない Apple Business Manager ・ Android Enterprise にも対応

01 | MDM としての基本機能

iOS

Android

デバイス情報や位置情報の自動取得、リモートロック・ワイプなど、スマホ・タブレットを管理するための基本的な機能を網羅しています。

02 | Apple Business Manager

iOS

デバイスを効率的にエンドポイントマネージャーの管理下に置き（自動デバイス登録：DEP）、アプリの配信（VPP）やデバイスの利用制御などを実現できる Apple 社が提供するプログラムです。

03 | Android Enterprise

Android

Android Enterprise は、より高度なデバイス管理を実現できる Google 社が提供するプログラムです。Play ストアに表示するアプリを限定したり、アプリをデバイスに強制インストールが可能です。また、初期化の禁止やアカウントの追加・変更の禁止など、デバイスの利用制御も可能です。



モバイルワークの推進とセキュリティ強化に エンドポイントマネージャー クラウド版が貢献



岡山市役所 様

本社所在地 岡山県 事業内容 行政サービスの提供

管理台数 156台 管理OS iOS・Windows

主な導入目的 IT 資産管理・MDM ツールとして導入

事例内で紹介している機能

IT 資産管理	操作ログ管理	アップデート管理
記録メディア制御	紛失対策	位置情報取得
Apple Business Manager	Android Enterprise	

>> [事例詳細はこちら](#)

(担当者様の話)

モバイルワークという新しい取り組みを行うなかで、従来はなかったインターネットに接続して通常業務を行う端末が増加した。市民の皆様からお預かりしている大切な情報を守るために、端末の適切な管理を行うことが必要となった。

課題

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、モバイルワークを推進。従来はなかったインターネットに接続して通常業務を行う端末が増加したことにより、インターネットに接続する端末の適切な管理が必要となったこと。

採用理由

- インターネット接続端末の IT 資産管理・操作ログ取得・紛失対策ができること。
- PC だけでなく、タブレット端末 (iOS/Android) も一元管理できること。

導入効果 今後の展望

- 所在がさまざまな各端末のアップデート状況が管理コンソールで一覧で確認できるようになったことで、人力でアップデート状況を確認する手間が軽減され、対応時間の大幅な短縮と業務のスピードアップが図られたこと。
- モバイルワークの実施を検討している部署がさらに増えており、インターネット接続をしてクラウドサービスを利用するケースも増えることが予想されるため、端末管理・ログ管理の重要性がさらに高まる。

全国1000台超のWindows PCやスマートデバイスの管理にエンドポイントマネージャーを導入。



平成医療福祉グループ様

本社所在地 東京都 事業内容 人材紹介・人材派遣サービス事業の企画

管理 OS iOS・Windows

主な導入目的 IT資産管理・MDMツールとして導入

事例内で紹介している機能

IT資産管理	操作ログ管理	アップデート管理
記録メディア制御	紛失対策	位置情報取得
Apple Business Manager	Android Enterprise	

>> [事例詳細はこちら](#)

(担当者様の話)

iPadに加えてWindows端末も管理できること、さらにWindows端末の操作ログが取得できる点は、他のIT資産管理ツールやMDMツールにはない機能だった。

課題

- 管理対象の端末増加に伴い、棚卸などでの作業負荷が高くなっていったこと。
- 業務に必要な各種アプリのインストールを行うためのApple ID作成など、iPad端末のキッティングにかかる工数が増大。

採用理由

- 個人情報保護法をはじめとする法令への対応に活用できること。
- iPadに加えてWindowsも管理できること。
- iPadのキッティング作業の負荷軽減につながること。

導入効果 今後の展望

- アプリの一括配信機能を活用することにより、現場に行かなくても遠隔で対応できるようになり、インストールにかかる工数が大幅に削減されたこと。
- 職員によるアプリのインストールを制限したことで、シャドーITのリスクが軽減されたこと。
- 紛失した際には、すぐに端末の位置情報を管理画面で確認して、関係者に報告し、端末をリモートロックするという緊急対応手順が確立できたこと。

Endpoint Manager Cloud

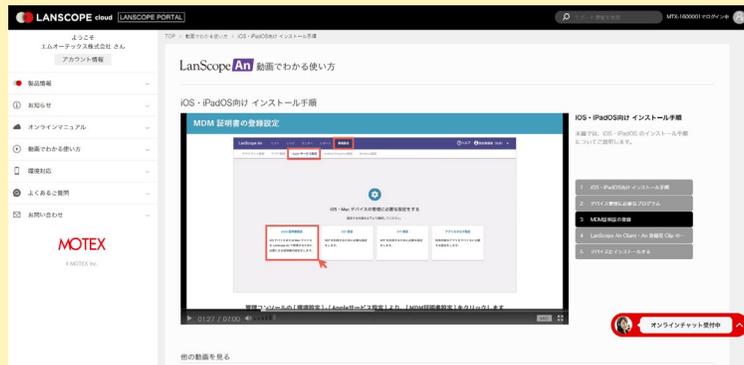
60日間無料体験キャンペーン中

エンドポイントマネージャー クラウド版の体験版は、設定したポリシーや取得した情報を含め、そのまま製品版へのデータ引き継ぎが可能です。また体験版利用中も、弊社サポートセンターにお電話やメールで問い合わせが可能。体験期間中は、マニュアルやオンラインで学べるトレーニング動画も公開しています。

●各種マニュアル・問い合わせが可能



●動画で設定方法を説明



<https://go.motex.co.jp/l/320351/2017-06-21/c55z>



製品に関するお問い合わせ

■ 営業本部

大阪本社 06-6308-8980

東京本部 03-3455-1811

名古屋支店 052-253-7346

九州営業所 092-419-2390

E-mail sales@motex.co.jp

ご購入後の製品利用に関するお問い合わせ

サポートセンター 0120-968995（携帯・PHSからは06-6308-8981）

お電話受付時間 9:30～12:00/13:00～17:30（平日、祝祭日除く）

Email お問い合わせ support@motex.co.jp

- ・記載の会社名および製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
- ・製品の仕様・サービスの内容は予告なく変更させていただく場合があります。
- ・MOTEX はエムオーテックス株式会社の略称です。